

## 特別支援学級(1～3年) 作業学習 学習指導案

### 1 単元名 「みんなに喜んでもらえる製品を作ろうⅡ」

#### 2 単元の目標

- しおりとリサイクル封筒の製作活動や頒布活動、振り返りを通して、やりがいをもって取り組むことができる。 [勤労観・職業観]
- しおりとリサイクル封筒作りの活動に目的や見通しをもち、自分の役割や分担の作業に最後まで意欲的に取り組むことができる。 [意欲・態度]
- 役割や分担の作業に必要な技能を高め、正確に作業に取り組んだり、きれいな仕上がりの製品を作ったりすることができる。 [知識・技能]

#### 3 単元構成【全35時間：10月中旬～3月初旬(後期)】(本時 第2次19/30時間目)

##### (1) 作業学習について

本単元では、作業学習を通して、製品を作るために友だちと協力して製作する経験を繰り返し体験させ、「人とかかわる力」を育むことを大切にしたい。更に、作業学習を行うに当たっては、地域と連携し、製品が具体的に地域でどのように役に立っているのかを分かるようにし、それによって、生徒たちにやりがいをもたせ、前向きな気持ちで取り組むことができるようにする。

また、今年度の作業学習では、しおり作りとリサイクル封筒作りを中心の活動としている。しおり作りは、「模様を型抜きする」「台紙にはる」「ラミネートする」「切る」「ひもを付ける」などと多くの作業工程に分けることができるとともに、しおりを使うニーズは高く、図書館等と連携し、頒布活動を行うことで、年間を通じて生徒に製作活動に取り組む目的を明確にもたせ、意欲を高めることができると考える。リサイクル封筒作りは、職員からのニーズが高く、リサイクル封筒を製作することで、生徒は身近な人に喜んでもらえる経験を積むことができると考える。また、比較的低予算で多くの製品を作ることができ、繰り返し取り組ませることができる。

##### (2) 目標を達成するための支援

単元における支援を次の4つの視点で構想する。

###### ○製作活動に進んで取り組ませる支援

自分が担当する作業の内容や手順などが分かり、進んで作業に取り組むことができるように、次の支援を行う。

- ・生徒の希望や機器を扱う力などの実態、教師の願い等をもとに、生徒ができそうな作業を分担する。
- ・活動の流れを一定にし、見通しをもって活動できるようにする。
- ・治具や見本、型紙、手順表など、自力で製作できるように支援機器を工夫する。
- ・道具の配置や棚の整理、作業場所の配置、生徒の動線などを工夫する。

###### ○目的をもち、達成感を味わわせる支援

生徒が製作活動に取り組む目的ややりがいを明確にもち、達成感を味わいながら作業学習に取り組むことができるように、次の支援を行う。

- ・頒布活動を取り入れ、製品を届けたり、頒布先を見学したりする機会を設定する。
- ・注文を受けたことを実感させるために、製品を頒布する場所から直接、FAX注文票で注文してもらったり、司書や事務職員に教室に来てもらい、直接注文を受ける機会を設定する。
- ・利用者からの手紙やアンケート、頒布先の人からのビデオメッセージを見る機会を設定する。

#### ○友だちとかわりながら取り組ませるための支援

友だちに教えたり、励ましたり、役割分担を通じてかかわることができるように、次の支援を行う。

- ・友だち同士で作業のやり方を教え合う機会を設定する。
- ・活動グループを『会社』に見立て、助け合い、責任をもって作業に取り組むことができるように、「社長」「副社長」「班員」の役割を設定する。
- ・友だちを励ましたり、作業を手助けしたりするように促す。

#### ○地域社会とのつながりを深める支援

地域の人に喜んでもらえるように作業に取り組み、地域とのつながりを深めることができるように、次の支援を行う。

- ・広く地域市民の方に製作したしおりを使ってもらえるように、地域の施設や学校園などにしおりを届ける機会を設定する。
- ・学区内の学校にリサイクル封筒を届ける機会を設定する。

### (3) 単元構成

前期の小単元「みんなに喜んでもらえる製品を作ろうⅠ」では、生徒は、しおりやリサイクル封筒の注文に応えようと製作活動に目的をもちながら取り組んだり、自分の作業に進んで取り組んだりした。また、作業に必要な技能を身に付け、正確に作業に取り組み、きれいな製品を作った。

そこで、本単元の第1次では、前期に担当した作業を次に担当する友だちに教える活動をとおして、身に付けた作業内容や技能をより確かなものにする。

さらに本単元では、友だちとかかわりながら協力して取り組むことができるようにするために、生徒のやりたい作業と各作業に取り組む実態、生徒の特性や相性などを基に二つの会社（グループ）を編成し、友だち同士で教え合ったり、励まし合ったりしながら協力して作業に取り組むようにする。編成した会社は、「WSTコーポレーション」と「マリオの里」である。

第2次からは、前期同様に【製作活動】→【頒布活動】→【振り返り】の流れで学習に取り組む。

【製作活動】では、作業工程から、生徒の希望や実態、作業の経験の幅を広げてほしい等の教師の願いを基に作業を分担し、みんなで協力しながら製品作りに取り組む。また、各会社の社長を中心に、班員でかわりながら責任をもって作業に取り組み、製品を完成させる。

【頒布活動】では、生徒が製品作りに対して目的や意欲をもつことができるように、頒布先の職員と連携し、生徒への称賛の言葉掛けや製品への意見をもらったり、頒布先を見学させてもらったりする。

【振り返り】では、頒布先で聞いた話や利用者のアンケートから、自分たちの製品を喜んで使っている人がいることなどを知り、働くことへの目的を明確にしたり、意欲を高めたりする。また、頒布先や利用者のアンケートから、製品の評判や使い心地、改善点をみんなで話し合い、より良い製品作りに生かす。主な学習活動等は、次表の通りである。

学習活動を展開するに当たっては、STや介助員と連携し、生徒の目標や支援を共有する。また、担当する生徒や支援の内容など、職員の役割を明確にする。そして、授業中や後に、生徒の授業の様子を

情報交換し、目標の評価や支援の改善を行う。

次	主な学習活動	主な指導内容
第1次 (5時間)	<p>「友だちに作業を教えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちや教師と相談しながら自分の作業を決める。</li> <li>・前期に担当した作業のやり方を後期の担当者に教える。</li> <li>・自分が新しく担当する作業のやり方を、前期の担当者から教えてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○後期に担当する役割や分担の作業を自分で選ぶことができる。</li> <li>○前期に担当した作業のやり方を後期の担当者に正しく教えることができる。</li> <li>○新しい作業分担のやり方が分かる。</li> </ul>
第2次 (30時間)	<p>「製品を作って、みんなに喜んでもらおう」</p> <p>※ 次の3つの活動を繰り返す。</p> <p>【製作活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割や分担の作業に取り組み、製品を作る。</li> <li>・作業の準備、主たる作業活動、作業の片付けの一連の活動に取り組む。</li> </ul> <p>【頒布活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頒布先に製品を届ける。</li> <li>・頒布先の人から製品についての意見を聞いたり、称賛を受けたりする。</li> </ul> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真で頒布活動を振り返る。</li> <li>・頒布先の担当者の話や利用者のアンケートから、製品の良さや改善点を知る。</li> <li>・利用者の声、頒布先の担当者からのビデオメッセージ等から、自分たちの作った製品が多くの人たちに喜ばれていることを知る。</li> </ul>	<p>【製作活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の役割や分担の作業に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>○機器や道具等の使い方が分かり、安全に留意しながらより良い製品を作ることができる。</li> <li>○周りの友だちに気を配り、教えたり、励ましたりすることができる。</li> </ul> <p>【頒布活動】 【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者に喜んでもらっていることを知り、製作活動に対する意欲をもつことができる。</li> <li>○自分の役割や分担の作業の価値を知り、前向きな気持ちで、製作活動に取り組むことができる。</li> <li>○製品を作る目的を明確にもつことができる。</li> <li>○より良い製品となるように、頒布先からの話や利用者のアンケートを基に、みんなで製品の改善点などを話し合うことができる。</li> <li>○【振り返り】の活動を通して、自分の行っていることが、人の役に立っていることを理解することができる。</li> <li>○自分の取り組みの姿を振り返ることで、製作意欲を高めたり、自分の作業に対する良い点や改善点を明確にもったりすることができる。</li> </ul>

#### 4 本時の学習（全 35 時間、本時 第 2 次 19/30 時間目）

##### (1) 本時のねらい

- 役割（社長、副社長、班員の立場）を通して子どもたちがかわりながら、共同で製作活動に取り組むことができる。
- 正確できれいな仕上がりの製品を作ることができるように、自分の目標に向けて取り組む。

##### (2) 前時までの実態と本時の個人目標、主な支援 ～一部抜粋～

生徒名 (学年) 【グループ】	前時までの実態	本時の目標	主な支援
【WST班】 社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社長として班員を見て回り、励ましの言葉を掛けながら、作業に取り組む様子が見られる。</li> </ul>	<p>WSTコーポレーション社長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社長として、班員の友だちに励ましの言葉掛けや助言を行いながら、自分の作業に進んで取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班員の活動に注目したり、助言を促したりするような言葉掛け</li> </ul>

【WST班】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●友だちからの働き掛けを快く受け入れ、時間が終わるまで黙々と作業に取り組むことができるようになってきた。</li> <li>●自分なりに色合いを考え、模様をはっているが、台紙の色とはる模様の色が同じになることがある。</li> </ul>	<p>しよりの「はる」担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちからの言葉掛けを受けたり、社長からの称賛を受けたりしながら、進んで作業に取り組むことができる。</li> <li>○台紙の色とはる模様の色が同じにならないように、模様をはることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業順序に沿って道具を置く。</li> <li>・社長役や友だちからの働き掛けを補足するように言葉掛けをする。</li> </ul>
社長【マリオの里班】G	<ul style="list-style-type: none"> <li>●班員に気を配ったり、適切な助言をしたりする様子が見られる。</li> <li>●意欲的に作業に取り組むことができるが、私語が多いことがある。</li> </ul>	<p>マリオの里社長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社長として、班員の友だちに励ましの言葉掛けや助言を行いながら、自分の分担の作業に静かに集中して取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班員の活動に注目したり、助言を促したりするように言葉掛けをする。</li> <li>・本人の気付きを促すような言葉掛けをする。</li> </ul>
【マリオの里班】I	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標を達成しようと黙々と作業に取り組む様子がたくさん見られるようになってきた。</li> <li>●折り紙の無駄を出さないように、正確に型を抜くことがほぼできる。</li> </ul>	<p>しよりの「型抜き」担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社長からの称賛や助言を受けたり、社長に報告や相談をしたりしながら、自分で立てた目標の達成に向け、意欲的に作業に取り組むことができる。</li> <li>○折り紙の無駄を出さないように、正確に型を抜くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちからの働き掛けを補足するような言葉掛けをする。</li> <li>・報告や相談を促す言葉掛け</li> <li>・目標を意識する言葉掛けをする。</li> </ul>

### (3) 本時の構想

生徒は、活動の流れに見通しをもち、準備や作業、片付けに進んで取り組めるようになった。

本時では、役割（社長、副社長、班員の立場）を通して子ども同士がかかわりを持ち、互いに教え合ったり、励まし合ったりしながら、協力して製品作りに取り組むことができるようにする。

○活動グループを『会社』に見立て、子ども同士がかかわりながら作業に取り組めるように、「社長」「副社長」「班員」の役割を設定する。

活動するグループを『会社』に見立て、Aさんを社長とする「WSTコーポレーション」とBさんを社長とする「マリオの里」を編成し、作業を進める。このように活動するグループを『会社』に見立て、「社長」「副社長」「班員」の役割を与えることで、社長を中心に班員同士がかかわり、責任をもって作業に取り組んだり、協力しながら製作活動に取り組んだりすることができる。

○「社長の心得」「副社長の心得」「班員の心得」を使って、自分の役割を意識させ、役割の作業をすることでかかわりをもてるようにする。

役割の内容が分かり、役割を通して子ども同士がかかわれるように、それぞれの役割の心得を提示する。提示する心得は、次の通りである。

社長の心得

- 一、みんなの手本になる
- 一、みんなをほめる
- 一、みんなを助ける

副社長の心得

- 一、社長を助ける
- 一、みんなの手本になる
- 一、自分の作業に集中して取り組む

班員の心得

- 一、自分の作業に集中して取り組む
- 一、社長に報告や相談をする

また、来年度の社長候補である1，2年生が、社長の役割をより意識しながら製作活動に取り組むことができるように、社長が作業学習で心掛けていることを聴く機会を設定する。

○役割を通して協力して製作活動に取り組めるように、かかわりを促す言葉掛けを行う。

社長に対しては、友だちの作業の様子を見て励ましたり、適切な助言をしたりするように言葉掛けをする。また、社長が副社長を誘って班員の作業の様子を見て回り、副社長が社長の役割を経験することが

できるように言葉掛けする。

班員の生徒に対しては、必要に応じて作業の進捗状況や製品の完成を社長に報告したり、作業のやり方を質問したりするように言葉掛けする。

#### (4) 本時の展開

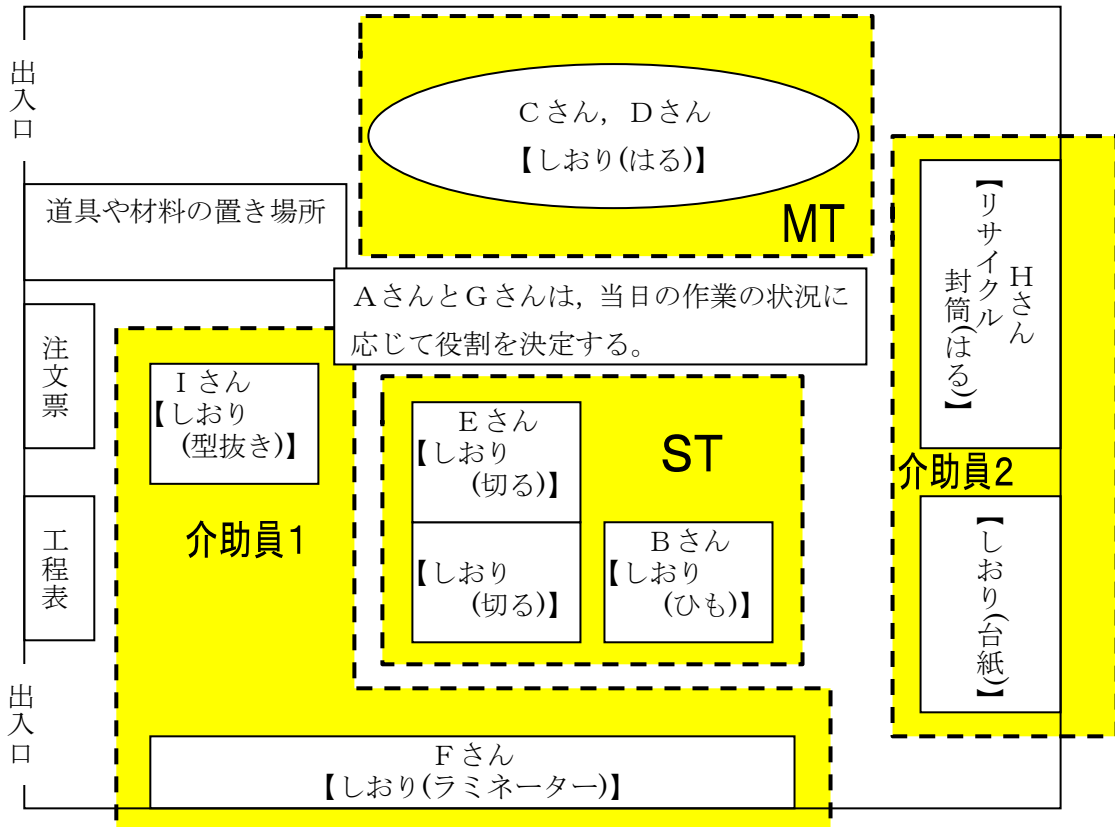
学習活動	主な教師の支援とその意図 [○] 支援に対する生徒の反応 [■]	指導上の留意点
<p>1 始まりの会をする。</p>	<p>○MTは、生徒の授業に対する意欲を持続することができるように、テンポや間に気を付けながら発問や指示を出す。 ○社長が主体的に会の進行を行うことができるように、進行カードを用意する。 ■社長が、進行カードを基に始まりの会を進める。 ■今日の活動の流れや注文が分かる。 ○子ども同士がかかわりながら作業に取り組めるように、活動するグループを『会社』に見立て、生徒一人一人に「社長」「副社長」「班員」の役割を設定する。 ○役割の内容が分かるように、「社長の心得」「副社長の心得」「班員の心得」を提示したり、社長が作業学習で心掛けていることを発表したりする。 ■自分の役割やその内容が分かる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MTやST, 介助員で役割を明確にしなが、生徒への支援に当たる。</li> <li>・職員も生徒と一緒に製品作りに進んで取り組み、働く雰囲気を作ったり、よりよい手本となったりする。</li> </ul>
<p>2 製品作りの目的意識を明確にもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頒布先からの注文票を確認する。</li> <li>・司書と事務職員から直接しおりとリサイクル封筒の注文を受ける。</li> <li>・頒布先からの注文や喜びの声、激励のビデオメッセージを見る。</li> <li>・しおりの利用者のアンケートの内容を見る。</li> <li>・工程表を見ながら、自分の役割を確認する。</li> <li>・作業の目標を立て、自己評価カードに記入し、発表する。</li> </ul>	<p>○製品を作る相手が明確になるように、司書と事務職員に教室で直接注文をしてもらう。 ■しおりと封筒の注文があることが分かる。 ○製品を作る相手が明確になったり、自分たちの製品を使って喜んでいる人がいることを分かったりできるように、頒布先からのビデオメッセージを提示する。 ■誰のために作るのかが分かる。 ■自分たちがやっていることで喜んでいる人がいることが分かり、うれしい気持ちをもったり、もっと喜んでもらいたいという気持ちをもったりする。 ■製作活動への意欲が高まる。 ○しおりの利用者が喜んでいることやしおりの改善点などが分かるように、利用者のアンケートの記述内容を提示する。 ■自分たちが作ったしおりを大切に使っていることや自分たちのしおり作りの取り組みがみんなのためになっていることが分かる。 ○本時の目標を明確にもちながら作業に取り組むことができるように、自己評価カードに記入する。 ■自分の今日の作業の目標を決めて、自己評価カードに記入する。</p>	
<p>3 しおり班とリサイクル封筒班に分かれて、自分の作業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作業に必要な道具を準備する。</li> <li>・自分の作業に取り組む。</li> </ul>	<p>○MTやST, 介助員は、担当する生徒が自分で必要な道具を準備することができるように、準備カードを見るように促したり、何が必要かを思い出すことができるような言葉掛けを行ったりする。 ■自分で道具を準備する。 ○役割を通して子どもたちがかわりながら製作活動に取り組むことができるように、かわりを促す言葉掛けを行う。 ■社長が、班員の様子を見て回り、作業を教えたり、励ましの言葉を掛けたりする。 ■班員が社長からの働き掛けを受け、意欲的に作業に取り組む。 ■班員が社長に作業の進捗状況などを報告したり、作業のやり方を質問したりする。 ○自分の作業に進んで取り組むことができるように、集中して取り組んでいる姿やきれいに仕上がっている部分を具体的に称賛する。 ○利用者が喜ぶような製品を作ることができるように、改善点を具体的に言葉掛けしたり、正しいモデルを示したりする。</p>	

<p>・片付けを行う。</p>	<p>○製作活動に目的や意欲をもてるように、頒布先の人を楽しみに待っていることや一人一人の今日の作業の目標数を言葉掛けする。</p> <p>■「〇〇小に届けるために頑張る」「目標の〇枚頑張る」など、製作活動への目的を明確にもったり、意欲が高まったりする。</p> <p>■改善点や注意点を意識し、より良い製品になるように心掛けながら、自分の作業に取り組む。</p> <p>○道具等を基の場所に片付けることができるように、棚の表示を見るように促したり、「あそこだよ」などと指差ししながら言葉掛けをしたりする。</p> <p>■使った道具を、元の場所に自分で戻す。</p>	
<p>4 終わりの会をする。</p> <p>・目標に対して自己評価を行い、自己評価カードに記入する。</p> <p>・今日の取り組みについて、みんなの前で発表する。</p>	<p>○MTとST、介助員は、生徒が自己評価カードに今日の様子を記入したり、他の生徒に対して発表したりすることができるように、生徒の取り組みの様子を具体的に言葉掛けしたり、発表を促したりする。</p> <p>○MTとST、介助員は、生徒が授業に対して満足感をもって、次時に気を付けることを理解したりすることができるように、自己評価カードに称賛のコメントや改善点などを記入する。</p> <p>○自分の取り組みに自信をもてるように、生徒が発表した後には全員で拍手をしたり、称賛の言葉掛けを行ったりする。</p> <p>■取り組みの様子を振り返り、自己評価カードに記入したり、発表したりする。</p> <p>■役割に取り組んだ達成感や製品を頒布先に届けることができる喜びをもつ。</p> <p>■次時の作業学習に期待感をもつ。</p>	<p>・MTやST、介助員が、担当する生徒の取り組みの姿を見取り、本時の評価を行う。</p>

(5) MTとST、介助員の役割分担

MTとST、介助員は、担当する生徒を分担すると共に、始まりの会、作業中、終わりの会の各場面における支援内容を明確にしながら授業を行う。MTは、全体を把握し、授業をリードする。STや介助員は、MTの指示の内容をくみ取りながら、担当する生徒の実態に応じて個別に支援を行う。

(6) 作業を行う場所の配置図



(7) 本時の評価

自己評価カードの記述や教師や介助員の見取りから、次のような生徒の姿で本時のねらいを評価する。

生徒名(学年) 【作業班】	本時のねらいに対する生徒の姿
A 【WST班】 社長	<p><b>WSTコーポレーション社長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○班員の様子を1回以上見て回り、「頑張ってね」「～した方がよい」などの言葉を掛けながら、自分の作業に最後まで集中して取り組む。</li> <li>○Bさんを「一緒に見て回ろう」などと社長の役割に誘う。</li> <li>○1, 2年生に社長の役割の内容を説明したり、心構えを言葉掛けしたりする。</li> </ul>
C 【WST班】	<p><b>しおりの「はる」担当</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社長や友だちの言葉掛けを受けながら、時間の最後まで手を休めずに作業に取り組む。</li> <li>○台紙の色とはる模様の色が同じにならないように模様をはる。</li> </ul>
G 【マリオの里班】 社長	<p><b>マリオの里社長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○班員の様子を1回以上見て回り、「頑張ってね」「～した方がよい」などの言葉を掛けながら、自分の作業に静かに集中して取り組む。</li> <li>○1, 2年生に社長の役割の内容を説明したり、心構えを言葉掛けしたりする。</li> </ul>
I 【マリオの里班】	<p><b>しおりの「型抜き」担当</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社長の称賛や助言、励ましなどを受けて、作業の進捗状況を報告したりしながら、意欲的に作業に取り組み、自分で立てた目標の枚数を達成する。</li> <li>○折り紙の無駄を出さないように、また、模様が欠けないように型を抜く。</li> </ul>